

みずぼうそう（水疱瘡）

潜伏期間	：14～16日
発症期間	：7～10日程度
特徴、症状	：・発熱（熱はないこともある）とかゆみのある水疱が全身に広がる感染症 ・赤い斑点→水疱（水ぶくれ）→かさぶたの経過をたどる ・感染力が強く、免疫のない人はほぼ100%感染する
感染する期間	：発疹出現1～2日前から全てのみずぼうそうがかさぶたになるまでの間
感染経路	：飛沫感染、接触感染、空気感染

・空気感染

感染している人が咳、くしゃみ、会話をした際に口から飛び出した小さな飛沫が乾燥し、その芯となっている病原体（飛沫核）が病原性を保ったまま空気の流れによって拡散し、それを吸い込むことで感染する

飛沫感染の感染範囲　　：飛沫が飛び散る2メートル以内

空気感染の感染範囲　　：室内等の密閉された空間内全域

予防　　：水痘ワクチン（^{※1}定期接種、^{※2}生ワクチン）が有効

◎水痘ワクチン（1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日までの間に行う）

1回目　　1歳～1歳3か月まで

2回目　　1回目の接種から3か月以上あけて接種を行う

※1、定期接種　　：法律に基づいて市区町村が主体となって実施する予防接種

※2、生ワクチン　：病原体となるウイルスや細菌の毒性を弱めて病原性をなくしたものを
原材料としている

その他の予防接種については後日別紙をお配りします

登園の目安　　：全ての発疹がかさぶたになっていること

消毒について

・みずぼうそうのウイルスは何の消毒薬も効く

《園ではアルコール、ピューラックス（水3リットルにピューラックスのキャップ1杯）》

・手の触れる場所、物は日頃から水拭きや洗浄など掃除をしておく

・汚れているもの（鼻水やよだれのついたもの）は掃除をしてから消毒する

◎みずぼうそうのウイルスは治った後も神経の奥深くに残り、ストレス、疲労、病気など

免疫力が低下すると神経を通じて皮膚の表面に出てくる⇒^{たいじょうほうしん}帯状疱疹

◎みずぼうそうにかかったことがない人が帯状疱疹に触れ（接触感染）、ウイルスが感染した場合はみずぼうそうを発症する